

**平成24年度第4回公立大学法人熊本県立大学理事会
議 事 録**

日 時：平成25年3月19日（火） 午後3時13分～午後4時15分

場 所：公立大学法人熊本県立大学大会議室

出 席：理事長 五百旗頭 真
副理事長（学長） 古賀 実
理事（副学長） 半藤 英明
理事（事務局長） 益田 和弘
理事 小栗 宏夫
監事 清水谷 洋樹
監事 樋口 信夫

事務局：田代事務局次長、元島教務入試課長、福永総務課長、安達学生支援課長、阪本企画調整室長、前田地域連携センター事務長、田中学術情報メディアセンター事務長、川上総務課総務班長、浅川総務課財務班長、北島企画調整室主幹

1 開会（進行：田代事務局次長）

2 五百旗頭理事長あいさつ

3 議題（議長：五百旗頭理事長）

（1）審議事項

① 平成25年度年度計画（案）について

事務局から、資料1に基づき、「地方独立行政法人法に基づき、中期目標の達成に向け毎事業年度の開始前に翌事業年度の年度計画を定めて設立団体の長である知事に届け出を行う必要があるため、今回、第2期中期計画の2年度目である平成25年度年度計画（案）を作成した。全体で65項目にわたるが、主なものを抜粋して説明する。」との説明があり、その上で主要項目の説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 平成25年度予算（案）について

事務局から、資料2に基づき、「平成25年度予算案については、収入・支出とも前年度当初予算に対し、82,329千円増加の2,417,557千円としています。増額の主な要因として、収入については、学生数見込みの増加等による授業料の増加、補助金、運営交付金の増加、また、施設改修等に伴う目的積立金取崩の増加等、支出予算については、学内情報システム見直しや補助金事業に係る経費等の増加、また、保全計画に基づく施設改修に係る経費の増加である。今後、知事に対して年度計画として届け出を行う予定。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 教員採用に係る枠取りについて

古賀学長から資料3に基づき「文学部2件、環境共生学部1件の枠取りであり、3件とも平成25年4月1日からの採用を予定している。文学部については、社会言語学・方言学という分野で、どちらかという日本語学の分野で教育研究にあたっていただく。退職教員の補充のためのもので、職位は准教授もしくは講師を予定している。

2件目は、初修外国語に係るもの。前職者はドイツ語教員であり、数年空席があったもの。最近の学生の履修状況を鑑みるとアジア系言語のニーズが高いことから今回は韓国語及び異文化コミュニケーションの科目を担当できる方を准教授もしくは講師で採用したい。国籍は問わないが業務等に支障のない程度の日本語能力を有することが条件の一つ。

3件目は環境共生学部の建築設計及び住空間計画学の分野で、今年度退職する准教授の後任で、職位は教授、准教授または講師として幅広く人材を求めたい。この分野は建築設計いわゆる図面が引ける方、建築士の養成に十分携わっていただけの方を求めており、条件としては、博士の学位を有しているか、それに準ずる設計業績・受賞歴などを有している方で、大学あるいは高専での教育歴を有する者としてい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 役員及び職員の退職手当の改定について

事務局から資料4に基づき、「本法人の職員給与については、地方独立行政法人法の規定に沿って社会情勢に適合したものとするために、民間企業の実態を反映した人事院勧告及び熊本県人事委員会勧告に準拠することが適切と判断し、これまで同勧告に沿って改定をしてきている。今回も退職手当に関して人事院から示された「退職給付に係る官民比較調査の結果及び見解」を受け、国、県が行った支給水準の見直しを踏まえ、同様に改定を行うこととしたもの。職員のみならず役員に関しても同様に引き下げる。本日の議論を受けて規則改正し、施行する。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 教員の採用について

古賀学長から資料5に基づき、「文学部2名、環境共生学部3名、総合管理学部3名の合計8名の教員を平成25年4月1日付で採用する。」との報告があった。

② 熊本県立大学特任准教授の任用について

③ 熊本県立大学特任講師の任用について

古賀学長から資料6、7に基づき「本学の特定のプロジェクトに携わっていただくため二人を任用する。まず、食育に係るプロジェクトを推進するため、1名を特任准教授として任用。地域連携・研究推進センタープロジェクト室に所属していただく。また、文部科学省補助金「産業界ニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」で教育評価を担当してもらうため、1名を特任講師として任用。キャリアセンターに所属。いずれも平成25年4月1日から任用する。」との報告

があった。

④ 環境共生学部居住環境学科長の選考について

古賀学長から資料8に基づき、「平成25年4月1日から居住環境学科の学科長を李祥嘉教授とする。任期は前任者の在任期間の1年間となる。」との報告があった。

⑤ プロパー事務職員（法人独自の事務職員）の採用について

事務局から資料9に基づき、「本学独自の事務職員として2名を平成25年4月1日から採用する。教育課程の編成業務、入試業務、学生の就職支援業務など事務組織の核となる人材を確保するための採用。55名の応募者の中から3段階での試験、面接などを経て2名を採用。平成27年にかけて現在3名のプロパー職員を8名まで拡大していく予定。」との報告があった。

4 その他

事務局から以下のとおり報告された。

- 次回平成25年度の第1回理事会は、平成25年6月24日（月）もしくは25日（火）で調整中。
- 古賀現学長の任期が来年度をもって満了となり、平成25年度は学長選考会議を開催して次期学長を選考する必要があるため、別紙「学長選考会議委員の選出について（報告）」のとおり、経営会議と教育研究会議からそれぞれ3名ずつ委員を選出。

5 閉会

以上